

研修ガイド

# 防災ワークショップ・家庭（地震）編

45分

地震が発生した場合に起こり得る家庭内の危険と発生時の行動、対応、事前対策を考える

## 1 ねらい

- ① 地震が発生した場合に起こり得る家庭内の危険と発生時の行動、対応、それに対する事前対策を考察することができるようにする。
- ② 防災ワークショップを通して、全教職員が参加し、防災意識、防災対応能力の向上につなげることができるようにする。

## 2 流れ

- ① 自宅平面図の記入
- ② 自宅危険箇所チェック
- ③ ブレーカー、元栓、避難経路の確認
- ④ 対応、対策、家族についてまとめ
- ⑤ グループの話合い、まとめ
- ⑥ 全体シェアリング

## 3 準備物

- ・研修会進行資料……ファシリテーター進行表、進行スライド、グループ進行表、ワークシート ほか
- ・参加者……筆記用具



## 4 準備のポイント

### ① ワークシート

○A4サイズで作成しています。A3サイズに拡大すると、記入しやすくなります。

## 5 活動内容のポイント

- ① 東京消防庁のHP（防災教育スタートパック「参考資料」→「指導資料を取り出せるリンク集」参照）では、実際の地震発生時の被害を映像で確認することができます。例えばオリエンテーション中に参加者に見せることで、具体的にイメージをすることができ、研修が深まります。
- ② 本ワークショップ後に、教職員が在宅中に地震等が発生したときの学校の対応について話し合うこともできます。（「はじめよう『防災ワークショップ』」、3「防災ワークショップ」次のステップ参照）
- ③ 震災の経験を思い出して心身に不調を来す場合もありますので、参加者の様子などを観察し、配慮をお願いします。児童生徒等に指導する場合も同様をお願いします。

## 6 児童生徒等への指導・家庭との連携について

### ① 児童生徒等への指導 → 児童生徒等の指導に活用できるよう「児童生徒等用ワークシート」があります

指導例	活動内容
家で地震が起きたら	○「児童生徒等用ワークシート」を活用して指導します。 ・「児童生徒等用ワークシート」を用いて、家庭で地震が発生した場合の「状況、対策、行動」について考える。

### ② 家庭との連携

→児童生徒等の指導や家庭との連携に活用できるよう「家族防災会議用ワークシート」があります

連携例	活動内容
家族防災会議をしよう	○「家族防災会議用ワークシート」を活用します。 ・「家族防災会議用ワークシート」を宿題とし、家族で地震が発生した場合の「状況、対策、行動」について考えて話し合う。
避難確認カードの作成	○「家族防災会議用ワークシート」によって高まった家庭の防災意識を踏まえ、家庭と連携した災害対応に取り組みます。 ・学校防災マニュアル作成ガイド（宮城県教育委員会平成24年9月）P48「避難確認カード」のようなカードを作成する。そこに家庭の災害時の避難場所や緊急時の連絡方法や連絡先、家族との約束事の確認などを記入させ、家庭と学校で1部ずつ保管する。

※本ワークショップは静岡県危機管理局の職員により考案された「家庭内DIG」を校内研修用にアレンジしたものです。